

# 今だから伝えたい事実、広げたい草の根の運動

## 原水禁止世界大会報告集 9/14

九月十四日、北多摩センターで、原水禁止世界大会長崎大会の報告集会「被爆六十八年 今だから学ぼう伝えよう」が開かれました。

今年の世界大会に北多摩東支部から参加した7名の報告には、大会の熱気やそこで感じた平和への願い、新たに学んだこと、学校で子どもたちに伝えてみて感じたことなどがたくさん盛り込まれていました。(詳細は報告集にギッシリつまっています。支部までご連絡を頂ければお送りいたします！)



平和に対する熱い思いを語る大会参加者

集会の後半は、十五歳の頃長崎で被爆された富岡マサヨさんの被爆体験談をうかがいました。焼け灰一色の瓦礫の山に囲まれた長



15歳長崎で被爆 富岡マサヨさん「あの思いを子ども達には絶対にさせられない」

崎市街地を長い時間歩いたこと、人々が被爆し傷だらけの体になっていたウジを自ら取っている光景、玉音放送の後敗戦の事実を聞いたとき放心状態になったことなど、当時のことをお話される富岡さんは、時折涙ぐみ、力を振り絞るようでもありました。

被爆直後の生活を、「今は『先が見えない』とよくいうけれど、あのときは、明日が見えない。今夜食べられるかもわからない」と振り返る富岡さん。

「今、曾孫が小学校四年生と六年生。絶対にあのときの思いは、あの子ども達にはさせられない。」

反戦・反核への思いを力強く語っていらつしやいました。

この日は、三鷹被爆者の会会長

の大岩さんにも参加していただきました。「教育はこわい。純粋な子どもたちを、どちらの方向へも導いてしまう。」

今、被爆者の方々は、二度と過ちが繰り返されぬよう、自分たちの被爆体験を伝えたいと一生懸命活動していらつしやいます。

ぜひ、子どもたちや保護者、同僚と、今だからこそ、共に被爆の歴史を学びませんか。各市町村に、被爆者の会があり、学校での講演などの活動を行っています。支部にご連絡いただければ、ご紹介もできます。

事実を隠したり曲げたりしながら、憲法や教育が変えられようとしている今、本当のことを聞き、学び、伝えられる教員でありたいと感じています。

### 来年度退職予定の方 労使協議が継続のまま、来年度の再任用募集が始まります。

短時間勤務を残すために組合と交渉中です。短時間勤務の希望者も今回は申込をして「短時間勤務」希望とはっきりと記入してください。

非常勤教員制度については10月です。存続を要求しています。非常勤のみを希望する人は廃止されれば無収入となり重大問題です。廃止を許さない全教職員署名にご協力をお願いします。

### ライフプランセミナー

## 知って得する 退職後の必要なこと

開催日：10月12日(土) 13:30~16:00 定員 30名

場所：北多摩東教育会館(東小金井駅南口3分)

テーマ：①退職後の年金・税金・保険・医療などにお答えします。

講師：山田 訓さん(社会保険労務士・瑞穂二小事務職員)

②再任用・非常勤教員・再雇用制度について

講師：再任用・非常勤の教職員

FAX：042-384-7904(都教組北多摩東支部)

2013年10/12 ライフプランセミナー 申込書 (10月10日まで FAXでお申し込み下さい)

学校名 ( ) 氏名 ( )  
住所 (〒 )